

ダイワ／バリュー・パートナーズ・チャイナ・イノベーター・ファンド

第4期分配金は1,700円

2020年11月13日

平素は、「ダイワ／バリュー・パートナーズ・チャイナ・イノベーター・ファンド」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2020年11月12日に第4期計算期末を迎え、当期の収益分配金につきまして1,700円（1万口当たり、税引前）と致しましたことをご報告申し上げます。

当ファンドの分配方針は以下のとおりとなっています。

1. 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
2. 原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和アセットマネジメント）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

基準価額・純資産の推移

2020年11月12日現在

基準価額	15,991 円
純資産総額	54億円

＜分配の推移＞

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)		分配金
第1期	(19/05)	0円
第2期	(19/11)	200円
第3期	(20/05)	350円
第4期	(20/11)	1,700円

分配金合計額 設定来：2,250円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和アセットマネジメント）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

当期の投資環境

中国A株市場は中国の景気回復期待から大幅上昇、香港株式市場は小幅上昇

中国A株市場の代表的な指数であるCSI300指数は、当期首から2020年7月上旬にかけて、新型コロナウイルス封じ込め後の中国経済の回復期待から大幅に上昇しました。その後は、米中関係の緊張感の高まりなどが相場の重しとなりボックス圏での推移が続きましたが、期末にかけては、米大統領選挙でバイデン氏勝利の可能性が強まると、米中関係の改善期待などから上昇しました。香港株式市場の代表的な指数である香港ハンセン株価指数は、中国経済指標の改善などが好感され7月上旬にかけて上昇しました。その後は、米国政府による中国企業への締め付けなどが懸念材料となり上値の重い展開が続きましたが、期末にかけてはバイデン氏勝利の観測を受けて値を戻しました。

中国人民元は上昇、香港ドルは下落

為替相場については、当期間、中国人民元は、中国の景気回復期待などから対円で上昇した一方、香港ドルは、米国の金融緩和政策の長期化見通しなどをを受けて対円で下落しました。

当期の運用状況

当ファンドのパフォーマンスは、上記のような市場環境のなか、深センや上海上場の中国A株を中心とする銘柄の上昇がけん引し、中国の代表的な株価指数のパフォーマンスを上回りました。

当ファンドと中国株式指数の推移



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※CSI300指数、香港ハンセン株価指数は、当ファンドのベンチマークではありません。※円換算は、前営業日の指数値に当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を乗じて算出しています。※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

（出所）ブルームバーグ

当期の運用経過

当ファンドのパフォーマンスは中国の代表的な株価指数を上回って推移

ポートフォリオにおいては、業種別では、中国のインフラ投資拡大や産業自動化の流れを支える資本財・サービスセクターや、中間所得者層の拡大や消費行動の変化から恩恵を受ける一般消費財・サービスセクター、5GやIoTなどデジタル化をけん引する情報技術などを組入高位としました。

個別銘柄では、自動制御製品メーカーの深セン市匯川技術（Shenzhen Inovance Technology）や検査・認証サービス大手の華測検測認証集団（Centre Testing International Group）、シリンダーメーカーの江蘇恒立液圧（Jiangsu Hengli Hydraulic）などを組み入れました。

ポートフォリオの状況（2020年9月末時点）

《バリュー・パートナーズ・チャイナAシェア・イノベーション・ファンド・エスピー（クラスZ）の資産構成》 ※比率は組入ファンドの純資産総額に対するものです。

※以下の資産構成は、バリュー・パートナーズ香港リミテッドの提供するデータを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

業種別構成		市場別構成		通貨別構成	
業種名	比率	市場名	比率	通貨名	比率
資本財・サービス	30.1%	深センA株市場	48.0%	中国・人民元	70.0%
一般消費財・サービス	20.2%	香港市場	24.9%	香港ドル	25.3%
情報技術	15.6%	上海A株市場	22.0%	米ドル	4.7%
生活必需品	13.6%	現金等	5.1%	日本円	-
ヘルスケア	9.1%				
コミュニケーション・サービス	4.0%				
不動産	2.4%				
公共事業	-				
金融	-				
素材	-				
エネルギー	-				
現金等	5.1%				

組入上位10銘柄				合計39.6%
銘柄名	市場名	業種名	比率	
Shenzhen Inovance Technology Co Ltd	深センA株市場	資本財・サービス	4.9%	
Centre Testing International Group Co Ltd	深センA株市場	資本財・サービス	4.7%	
Jiangsu Hengli Hydraulic Co Ltd	上海A株市場	資本財・サービス	4.6%	
Tencent Holdings Ltd	香港市場	コミュニケーション・サービス	4.0%	
Zhejiang Sanhua Intelligent Controls Co Ltd	深センA株市場	資本財・サービス	3.9%	
Contemporary Amperex Technology Co Ltd	深センA株市場	資本財・サービス	3.7%	
Midea Group Co Ltd	深センA株市場	一般消費財・サービス	3.6%	
Meituan Dianping	香港市場	一般消費財・サービス	3.6%	
Suzhou Maxwell Technologies Co Ltd	深センA株市場	資本財・サービス	3.3%	
Luxshare Precision Industry Co Ltd	深センA株市場	情報技術	3.2%	

※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。

※市場名は、バリュー・パートナーズ香港リミテッドの分類によるものです。

※上記データは、基準日時点（現地）のデータを記載しています。

今後の見通しと運用方針

中国政府は内需強化とハイテク産業の育成などを成長戦略の中心に位置づける方針

10月に開催された中国共産党の重要会議である第19期中央委員会第五回全体会議（五中全会）では、次期5カ年計画の目標および2035年までの長期経済成長戦略の大枠や方向性が示されました。中国政府は、内需強化とハイテク産業の育成などを成長戦略の柱とする方針を示しており、当ファンドで注目するイノベーション関連銘柄は政策的な後押しなどもあり、引き続き、成長への確信度が高まる環境にあるとみています。

株式市場全般については、新型コロナウイルスの感染拡大状況や米国の政局動向などに左右されやすい展開が続くと想定されますが、中国経済の回復期待や中国政府の経済対策期待などが支援材料になり、中国株式市場は底堅い展開が期待できると考えます。

当ファンドでは、中国経済の成長をけん引するイノベーション関連銘柄に注目

当ファンドについては、引き続き、中国経済の持続的な成長をけん引する幅広いイノベーション関連銘柄に注目して投資を行っていく方針です。具体的には、電気自動車（EV）やハイブリッド車などの次世代自動車関連、産業ロボットなどのオートメーション関連、eコマースなどに代表される新デジタル経済、市場規模の拡大が見込まれるヘルスケアビジネスなどに注目しています。また、電力供給システムの増強と大気汚染対策の両立から、太陽光発電をはじめとする再生エネルギー関連や、5GやIoTなどの分野で起こるイノベーション関連銘柄も引き続き投資魅力が高いと考えます。今後も、外部環境の変化等にも注意を払いつつ、企業の技術力や国際的な競争力、成長性等などに基づき魅力度の高いイノベーション関連企業を選別して投資することにより、信託財産の成長をめざしてまいります。

ファンドマネージャーの注目分野のご紹介

環境対策：代替エネルギー、電気自動車（EV）など

- ✓ 環境対策を重視する中国政府はEVの普及に力を入れている
- ✓ ガソリン車を「2035年に全廃にする」方針を示しており、政策主導でEVの全面普及が着実に進んでいく見通し



新デジタル経済

- ✓ モバイル決済やオンライン医療、eコマースなど
- ✓ 巨大な国内市場を武器に急成長するサービスや企業が生まれている



産業ロボット

- ✓ 製造業のレベルアップは中国政府の注力分野
- ✓ 半導体、素材など幅広い分野で製造技術の底上げが進む



ヘルスケア

- ✓ 急速に高齢化が進む中国では、政府が医療制度改革に力を入れている
- ✓ 国民1人あたり医療支出は低い水準にあり、今後、市場規模の拡大が見込まれている



※注目分野の一例であり、上記以外の分野にも投資する場合があります。また、今後変更となる場合があります。

（出所）バリュー・パートナーズ

注目銘柄のご紹介

ゼアージアン・サンホワ・インテリジェント・コントロールズ
Zhejiang Sanhua Intelligent Controls

業種：資本財・サービス

- 主要業務は、空調、冷蔵庫、ヒートポンプの細管などに接続するバルブや部品の製造。近年EVの熱管理と省エネルギーの分野での制御コンポーネント、システムテクノロジーソリューションの開発にも注力。EV空調制御コンポーネントと熱管理におけるリーディングカンパニーに成長。中国のほか、北米、ヨーロッパ、日本、韓国など多くの販売チャネルを持ち、グローバルな視点でビジネスを展開。
- 業界のトップクラスの技術力をもち、EV最大手のテスラ、フォルクスワーゲンの新エネルギー車プラットフォームプロジェクト、ゼネラルモーターズの熱管理プロジェクト、ドイツのBMW電子膨張弁プロジェクトなど、世界中の自動車メーカーから多数の案件を受注。
- 生産能力の向上や研究開発投資に注力しており、同社の長期的な競争力が期待できる。

株価とEPSの推移



株価：2014年1月初～2020年9月末

EPS：2014年～2021年（2020年以降は2020年10月のブルームバーグ予想）

ソシュウ・マクスウェル・テクノロジー
Suzhou Maxwell Technologies

業種：資本財・サービス

- 太陽光発電などの再生エネルギー関連装置の設計・開発・製造・販売および電力供給ソリューションを手掛ける。
- 太陽電池スクリーン印刷生産ライン設備の世界的リーダーであり、断片化率、出力、変換効率などのさまざまな指標をリード。シリコンウエハーの大型化に対応するための太陽電池の生産ラインのアップグレードや、太陽光パネルセルの生産拡大による成長が見込まれる。
- また、次世代モジュールの開発・量産にも、多くの研究開発費を投じて取り組み中。高効率ヘテロ接合（HJT）太陽光モジュールは、光誘起劣化や経年劣化が少なく温度係数が低いいため、従来品に比べ効率に優れ、優位性が高い分野。HJT分野の技術向上により、同社の事業規模の拡大が期待できる。

株価とEPSの推移



株価：2018年11月9日～2020年9月末

EPS：2018年～2021年（2020年以降は2020年10月のブルームバーグ予想）

※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。※上記の企業はあくまでも参考のために掲載したものであり個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組入れることを示唆・保証するものではありません。

(出所) バリュース・パートナーズ、ブルームバーグ

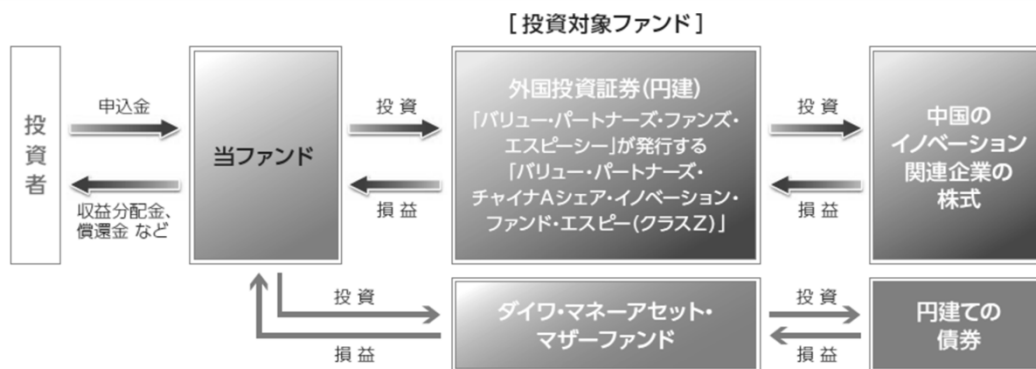
Ⅰ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

中国のイノベーション関連企業の株式に投資することにより、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

- 中国のイノベーション関連企業の株式に投資します。
※株式にはDR（預託証券）を含みます。
当ファンドにおける中国のイノベーション関連企業とは、以下①～④のうち、テクノロジー関連ビジネス、消費関連サービス、ヘルスケアビジネス、金融ビジネスなどの分野で革新的な企業をいいます。
①中国に主たる拠点を有している企業
②中国国内の株式市場に上場している企業
③収益の大部分を中国であげている企業
④主たるビジネスを中国で行なっている企業
- 中国株式の運用はバリュー・パートナーズ香港リミテッドが行ないます。
- 当ファンドは、以下の2本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
外国投資証券を通じて、中国のイノベーション関連企業の株式に投資します。



- 当ファンドは通常の状態、投資対象とする外国投資証券への投資割合を高位に維持することを基本とします。
- 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「集中投資のリスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

【中国A株投資に関する留意点】（2020年5月末現在）

- 上海と香港、深センと香港の株式相互取引制度（ストックコネクト）を通じた中国A株への投資においては、取引額や取引可能日の制約、長期にわたって売買停止措置がとられる可能性などにより、意図した通りの取引ができない場合があります。また、中国A株への投資の条件や制限は、今後、中国当局の裁量などにより変更となる場合があります。そのような場合、ファンドの基準価額に影響を与える可能性があります。
- QFII制度を通じた中国A株への投資においては、一定期間の中国国外への送金にかかる制限が設けられており、その後の中国国外への送金および中国国内への入金についても一定の制限があります。RQFII制度を通じた中国A株への投資においても同様の規制や制限等の影響を受ける場合があります。
- 株式相互取引制度やRQFII制度における取引通貨はオフショア人民元となり、中国全土における人民元の為替レートの値動きとは乖離する場合があります。そのような場合、ファンドの基準価額に影響を与える可能性があります。
- 中国政府当局は、その裁量で中国の外貨収支残高状況等を理由とした政策変更等を行ない、中国国外への送金規制や円と人民元の交換停止などの措置をとることができます。その場合には、信託財産における円と人民元の為替取引が予定通り行なえない可能性があります。
中国の証券関連投資の法令は近年制定されたものが多く、その解釈は必ずしも安定していません。中国国内における収益に対し課税されることとなった場合には、当ファンドがこれを実質的に負担する可能性があります。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

I ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉 3.3% (税抜 3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.2375% (税抜 1.125%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.705%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.9425% (税込) 程度	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等 大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。